

レースっていいよね

- 第11回 - 「それでもレースが好き」の巻

今、最も集客率の高い4輪レースは全日本GT選手権、つまり「JGTC」のみである。少々悲しいのではあるが現実だから仕方ない。人気の秘密は主催者、参加者、観客の一体感にあると私は考える。確かに、全くのレースマシンであるGT500でさえ、外観はレースモディファイがあるとはいえ、明らかに市販車の面影がある。これは視覚的効果としては大きいだろう。それだけではない、参加するドライバーにも魅力が多い。例えば、高橋国光氏の存在。中学生からオバチャン層にまで広く人気があり、端から見ていて不思議なほどだ。氏の暖かい人柄を考えれば当然と言えば当然なのだが、正直言ってやはり少し不思議に思う。

さて、観客を楽しませようとする主催者の努力も見逃せない。勿論、協力している各チームもしかり。

でも、私は申し訳無いがフォーミュラの方が好きなのだ。速く走る事だけを求める姿勢。虚飾を必要としない世界。粹である……ハズなのだが、フォーミュラニッポン、あれ?..... まず最初に断っておくが、フォーミュラニッポンに関わる人達がレースを面白くしよう、観客に喜んでもらおう、という意識があるコトは知っている。ただ、少しその方法が空回りしている気がしてならない。

今シーズン、開幕戦へ行って最も驚いた事が2つある。1つ目はピットエリアの開放。これまではパドックパスとは別にピットパスというものが必要だった。それを手に入れられるのは建前上はレース関係者のみだった訳である。この対応はファンサービスを狙っての事なのだろうが、私はこの方法はとても安易だと思うのだ。レースはスポーツなのだが、エンターテイメントでもある。興行である以上、ファンサービスは必要不可欠だ。しかし、何もかもをおおっぴろげにして見せてしまうのはどうだろうか。例えば演劇。演者は舞台上で自らの最高の演技を観客に見せる。観客はその演技や内容により一時の間現実逃避する事ができる。完全な状態を演じること、それが役者の使命であろう。それをわざわざ控え室にいる、化粧の途中や、食事中という、普通のヒトである所を開けっぴろげにして見せつけるだろうか。

レースが演劇と異なる点は、スポーツであることだ。つまり、演出があってはならないことだろう。

驚いた2つ目。決勝前のグリッドの開放。はっきり言って、サービスうんぬん言う前に、危ない! 何を考えているのだろう。メンテしているとはいえ、相手はレースマシンだ。突然炎を巻き上げるとも、動き出した瞬間にホイールが外れるとも知れないのだ。その確率はきわめて低いとはいえ、絶対ではない。それに、決勝前のダミーグリッドはある種神聖な場所と思っている。チームはドライバーを送り出したら、後はチェッカーまでドライバーを信じて待つコトしか出来ないのだ。その戦いへ挑むドライバーを送り出す最後の貴重な時間なのである。にも関わらずウジャウジャとヒトがただ物珍しげに、ウロウロされるのはどうも納得できない。

先程は演出は必要ないとは言ったものの、この決勝前の凜とした空気感こそが観客に対する最高の演出の1つになり得ると私は思う。アマチュアならともかく、プロなら、見る側と見せる側の間にはある程度の境界線が無ければならないと思う。これら2つの方法はただ観客に対し媚びている様にしか思えないのだ。それとも、もはや媚を売るコトでしか生き残れないのか……。

こんなことを感じつつ迎えた今シーズン、まさに「あれ?」の連発だった。フォーミュラニッポンと言いつつ外車を使う事実。結局はコストうんぬん付けられるだろう。しかし、レース文化を着実に根付かせ、発展させるためには避けては通れない筈だ。それにF3000でないのだからFIAのお顔を伺う必要も無いのだし、逆にチャンスだったのに。そのための技術も知識も物流も在るというのに。例えモノコックが国内量産できないのなら、タブの上側、下側、バルクヘッドをパーツとして輸入し、日本で接着しコンプリートする方法も考えられるし、例えばサスアームや、アップライト、ベルハウなどについてはチームや日本のコンストラクターなど国内外注で充分作れるのだし、大前提として日本のレース需要はまず日本のレース業

界内で供給する輪が必要だと思う。そうそう、「あれ?レギュレーション」のことも忘れてはならない。今更ここで書くことも無いか…。まあ、イロイロありますな。

Y2K。新世紀も目前だ。自動車メーカーはこぞってエコカーを発表し、電気自動車もかなり近い所に来た。はっきり宣言するが、電気自動車やソーラー自動車など私は全く興味ない。もう残り少ない石油資源、厳しい環境問題。好き嫌いに関わらずその時がくれば否応無く対応せざるを得ないだろう。

だから、私はその日が来るまで存分に石油を使い、空気を汚し、爆音を轟かせる大好きなこのレースの世界にいたい。運命の日は近いのですよ、紛れも無く。だから一刻も早く物流が自由なうちに日本のレース文化を野球やサッカーの様に高めなければならないのだ。

無理か?